

令和2年度「市長と女性の懇談会」意見と回答

開催日：令和3年2月27日（土）午前10時～11時 開催場所：豊橋市役所 政策会議室

テーマ：「新型コロナウイルス感染症の対策について」

参加者人数：4名 豊橋女性団体連絡会（3名） 公募（1名）

NO.1 発表者 そだ りつこ 曾田 律子（ハッピーグループ）

意 見	回 答 担当：福祉政策課 防災危機管理課
<p>避難所では、新型コロナウイルスの感染リスクが高くなると考えられます。市民が安心して避難所を利用できるよう、避難所での感染予防対策について教えてください。</p> <p>また、「新型コロナウイルスの感染リスク」も踏まえ、災害時の避難行動で気を付けなければならないことを教えてください。</p>	<p>【避難所での感染予防対策について】</p> <p>昨年7月に「感染症を考慮した避難所開設ガイドライン」を作成し、このガイドラインに基づいた訓練を各校区で実施しています。</p> <p>避難所の感染症予防対策として、これまで備蓄していたマスクやアルコール消毒液に加え、非接触式体温計や除菌水、加湿器の整備を進めるとともに、発熱や咳等の症状のある避難者には学校の教室などを活用し、専用スペースを設けることとしています。</p> <p>さらには、災害時の物資供給協定を締結している民間企業から感染症予防に有効とされている「間仕切り用段ボール」や「段ボールベッド」を供給していただくことになっています。</p> <p>こうしたことにより避難所での感染症予防に努めてまいりたいと考えています。</p> <p>【災害時の避難行動で気を付けること】</p> <p>新型コロナウイルスの感染が拡大する今、指定避難所は3密（密集・密閉・密接）となる可能性があることから、指定避難所へ行く必要がなくなるよう、以下の5つの事前対策をお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 自宅の周りにどんな危険があるのかをハザードマップ等で再確認してください。2. 家の耐震診断・耐震改修や家具の固定をするなどケガをしない、被災後も自宅で過ごせる環境づくりをしてください。3. 日ごろから親せき宅や友人宅への避難について話し合いをしておいてください。4. 備蓄食料については保存食に限らず、缶詰やレトルト食品など常に使う食料を使った分だけ購入するローリングストックをすすめましょう。5. 指定避難所へ避難する際はマスクの着用や消毒液を準備し、各自の感染症対策をお願いします。

NO.2-1

発表者

ないとう よしこ
内藤 美子

(JA 豊橋女性部会)

意 見	回 答 担当：健康政策課
<p>豊橋市の新型コロナウイルス感染状況と、感染者受入施設について教えてください。感染者が増えた場合の受け入れ体制は整っているのでしょうか。</p>	<p>10月末からの第3波の本市の累計患者は、2月25日現在1084例となり、うち1月は547例と患者が急増しました。人の移動に伴う感染増に歯止めがかからず、医療提供体制、特に入院病床の逼迫により、1月14日から、愛知県は、緊急事態宣言の対象地域として不要不急の外出の自粛、飲食店等の20:00以降の営業自粛を要請し、本市からも市民の皆様に一層の協力をお願いいたしました。2月1日から25日までの本市の患者発生は96例であり、1月の患者数から比較して少なくなっております。愛知県は2月28日までに緊急事態宣言を解除できるよう国に要請しており、市民の皆様のご協力・ご尽力により、新規感染抑止の効果がはっきりと表れてきていると思っております。</p> <p>新型コロナウイルス患者の受入については、肺炎など症状が重い方や重症化リスクが高い方は入院を、軽症や無症状の方は宿泊施設での療養または自宅療養をお願いしております。1月の感染者急増時には、県全体で病床が逼迫し、患者が入院を希望されてもすぐに受け入れができず、入院調整のため自宅で待っていただいたケースがありました。2月25日時点では、県全体での病床数の増加や新規感染者の減により、入院調整を取り巻く環境は改善してきております。コロナ病床は、看護師など人員の確保を含め、数の増加は直ぐには困難であるため、市は独自で入院隔離を解除する基準を医療機関とともに作り、感染性がなくなった新型コロナウイルス患者の療養を一般の医療機関に受け入れていただくため、新型コロナ回復患者転院協力金の制度を作りました。転院患者を受け入れる医療機関の受入体制整備など財政的な支援を行うことで、現在ある新型コロナウイルス感染症専用病床を有効に活用してまいります。</p>

NO.2-2

発表者

ないとう よしこ
内藤 美子

(JA 豊橋女性部会)

意 見	回 答 担当：農業支援課
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、出荷先が激減している花農家等へ市からの支援計画はありますか。</p>	<p>新型コロナの影響で、需要が大きく減少している農産物があり、特に花きについては、イベント中止、結婚式や葬儀などの規模縮小などにより、大変厳しい状況であると理解しています。</p> <p>花き需要の低下に対し、市としても緊急対策として、県や農協等と連携し、市役所などの公共施設や、市内の小学校・保育園で、地元産の花を飾ってもらい、あらためて花の魅力を発信したほか、花きの新たな需要開拓として、花きの通信販売を行うサイトの立ち上げなどを通して需要喚起を図ってきました。</p> <p>また、直接的な農家支援として、農協が実施した新型コロナウイルス対策融資に対し市が利息分を助成し、実質無利子化したほか、国が補正予算対応した「高収益作物次期作支援交付金」事業では、市が事務局として取りまとめを行い、3月中・下旬には各農家に交付金を支給できる見込みです。</p> <p>今後の支援ですが、JR豊橋駅の東西連絡通路を季節の花で飾り付けるなど、引き続き花のまち豊橋をPRしていくほか、ホワイトデーなどで花を贈る文化の定着を目指したイベントなどを計画しています。</p> <p>また、わかば議会でも“花プロモーションの取組”が採択され、来年度ですが「ハナノオト・マルシェ」として、駅の南口広場で花をプロモーションするイベントを若者主導で実施する予定です。</p> <p>コロナ禍で、花き以外の品目も含め、農業全体が深刻な状況ですが、今後も実情の把握に努めながら、その都度支援策を講じてまいりたいと考えております。</p>

NO.3

発表者

やまもと
山本 ちえ
千絵

(新日本婦人の会 豊橋支部)

意 見	回 答 担当：学校教育課
<p>文部科学省の萩生田大臣が、小学校を段階的に35人学級にしていくと発表しました。</p> <p>コロナ禍の中、学校行事が中止になったり、身近な場所で感染者が出たりと子ども達は強いストレスの中で過ごしています。</p> <p>教室に40人以上の子どもがいて、密を避けるなどの対策が取れるわけでもなく、先生達が教室の除菌を心がけてくれていますが、一人感染者が出たらクラスターに発展するのではないかと考えるととても怖いです。</p> <p>コロナが怖くて不登校になった子どももいると聞きました。不安を抱える子ども達一人ひとりの様子にすぐ気が付きケアできる、感染症対策が行いやすい少人数学級の実現が、今本当に求められています。豊橋の子どもの未来のために、少人数学級を実現させてください。</p>	<p>少人数学級の実現は、児童一人一人へのきめ細やかな指導はもちろんのこと、多忙化解消、終わりの見えないコロナ対策としての「密」の解消など、喫緊の諸問題を解決するために有効な手段になり得ます。</p> <p>愛知県は、小2・中1ですすでに行われている県独自の35人学級加配を令和3年度に小3へ拡大することを2月半ばに発表しました。その後も順次拡大していけば、国よりも1年早く小学校35人学級化が完了するものと思われます。</p> <p>ただ、導入にあたっては、人材確保をはじめ、教室数の確保、その他乗り越えなければならぬ課題が山積しております。</p> <p>例えば人材確保の面では、令和3年度、小学校3年生における35人学級を実施すると、本市だけでも新たに10名を超える教員が必要となります。県下全域なら100名近くになると思われる必要数分は、本来、正規教員で採用するべきです。これまで、児童生徒数の減少見込みを理由に新規採用者の増員は見送られてきました。この結果、育休・休職者の補充に充てる人員の確保にも苦慮している状況です。</p> <p>将来的に子どもが減って、現状の基準では基礎定数分の教員が余ってしまうなら、それこそさらに学級編成基準を引き下げ、少人数学級へとシフトする大きなチャンスであるとしておりますので、さらなる少人数学級の実現に向け、県を通じて、国へと声を届けてまいります。</p>

NO.4

発表者

かねだ まきこ
金田 万貴子

(公 募)

意 見	回 答 担当：健康政策課
<p>① 新型コロナウイルス感染症に対する豊橋市の対応 【提案】HP、広報などで具体的に分かりやすく掲示</p> <p>② 目に見える化の実施要請 【提案】飲食店、スーパー、ドラッグストア、映画館 等人の往来の多い場所では「コロナ対策を しています」を猛アピールしてもらう</p> <p>③ 自己意識の向上 【提案】いつどこで感染してもおかしくない状況です ので、個々の体調管理と努力を要請</p>	<p>① HP には、感染予防のための基本的な情報のほか、市民の方からよくいただく質問についてQ&Aを掲載し、保健所の考え方をお知らせしております。また、本市における感染状況、新規陽性者数や検査数、患者の年代別・感染経路別情報、療養状況などについて、月単位を目安に分析し、掲載しております。広報については、令和3年4月以降に高齢者をはじめとして実施されるワクチン接種についてお知らせしていく予定ですが、国のワクチン確保状況に沿い、掲載時期等を調整してまいります。</p> <p>② 豊橋市内の感染拡大を受け、本市は愛知県と協働し、1月27日から2月5日までの間、市内の飲食店全件を訪問し、愛知県の「安全・安心宣言施設」制度の啓発や認可施設のステッカー掲示、営業時間の確認など、市民が安心して施設を利用していただけるよう見回りを実施いたしました。スーパー・映画館等における感染対策については、各業界が定めるガイドラインに沿い感染対策を各施設において実施されていると承知しております。 保健所独自の取組として、保健所の環境衛生監視員が感染症対策のため、豊橋駅前エリアの飲食店の店舗に対し、湿度・二酸化炭素濃度など換気状況を見える化する「空気環境測定」を11月末より開始し、換気方法の助言による感染症対策を実施しています。</p> <p>③ 1月26日の1日最大となる49例の患者発生をうけ、当日に市長の記者会見において、より一層の不要不急の外出自粛やマスク着用・手洗い等の感染対策の徹底をお願いし、その模様を you tube や市 HP に掲載するとともに、ほっとメールにて市長メッセージを配信するなど、市民へ広く協力要請を行いました。</p>